

## 平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

### タケオ州プレイカバス中央病院内科・小児科病棟建設計画 完成式典開催

平成27年1月9日（金）、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「タケオ州プレイカバス中央病院内科・小児科病棟建設計画」（供与額限度額：116,121米ドル）により供与された内科・小児科病棟の完成式典が、タケオ州プレイカバス中央病院で開催されました。右式典には、ソック・ペン保健省長官、キエウ・ソヴァンティ副州知事、ヘム・サレス州保健局長、日本国大使館から與那嶺書記官が出席して祝辞を述べるとともに、その他地域住民や学生約700人が参列しました。

本案件は、タケオ州プレイカバス中央病院に内科・小児科病棟を建設し病床数を確保することで、他地域の病院に移送されていた地域住民への医療アクセス向上を図ることを目的として、2014年3月に贈与契約が結ばれ、この度完成式典の運びとなりました。

式典では、まず司会者が来賓を紹介した後、ヘム・サレス州保健局長、キエウ・ソヴァンティ副州知事によるスピーチが行われました。続いて與那嶺書記官がスピーチを行い、「日本政府は人材育成や医療サービスの整備を通じ、カンボジアの保健分野の支援を継続的に行ってきた。本案件で建設した内科・小児科病棟により、多くの地域住民が医療サービスを受けられるようになることを望み、また本案件がカンボジアと日本のさらなる友好関係促進に寄与することを願う。」と述べました。その後、ソック・ペン保健省長官がスピーチを行い「本案件について日本の多大な支援に感謝しており、また今回完成式典に参加している保健省長官、州保健局長、その他病院関係者とともに、その支援を高く評価している。今後とも、タケオ州プレイカバス郡地域の医療サービスが改善するようご支援頂きたい。」と述べました。その後、来賓によるリボンカット、及び病院見学が行われ、式典は無事終了しました。



①式典の様子



②與那嶺書記官によるスピーチ



③ソック・ペン保健省長官によるスピーチ



④ソック・ペン保健省長官からの記念品贈呈



⑤與那嶺書記官によるリボンカット



⑥ソック・ペン保健省長官によるリボンカット



⑦式典に参加する病院関係者及び地域住民



⑧病院内見学



⑨来賓及び病院関係者との集合写真



⑩地元新聞社からインタビューを受ける與那嶺書記官



⑪供与した内科・小児科病棟



⑫供与した内科・小児科病棟



⑬供与した病床



⑭内科・小児科病棟に設置されたドナーボード